

## メッセージアウトライン

### ヨハネ16：16~24「悲しみから喜びへ」

「しばらくするとあなたがたは、もはやわたしを見なくなります。しかし、またしばらくするとわたしを見ます」(16)このイエスの言葉は相変わらず弟子たちにとって理解するのに困難な言葉であった。(17)そして結局、彼らは「私たちは主の言われることがわからない」(18)と言わなければならなかった。

イエスはご自分の語られたことについて、弟子たちが質問したがっていることを知って、そのことについてさらに説明される。(19)「まことに、まことに、あなたがたに告げます。あなたがたは泣き、嘆き悲しむが、世は喜ぶのです」(20)これはイエスの十字架と死のことであり、もうすぐ起こってくることである。これは弟子たちにとって大きな悲しみであり、イエスを憎むこの世にとっては喜びであった。しかしその弟子たちの悲しみは喜びに変わるとイエスは言われ、女が子を産む時のたとえを教えられた。(21)それと同様に、「あなたがたにも、今は悲しみがあるが、わたしはもう一度あなたがたに会います。そうすれば、あなたがたの心は喜びに満たされます」(22)とイエスは言われる。イエスは死んで葬られるだけでなく、死より復活されまたもう一度弟子たちの前に姿を現されるのである。イエスの死を悲しみ、ユダヤ人たちを恐れて隠れていた弟子たちのところに復活のイエスが現れることによって、弟子たちの恐れは消え去り、大いに喜ぶ者へと変えられるのである。「その日には、あなたがたはもはや、わたしに何も尋ねません」(23)今までは弟子たちにとってわからないことだらけでたくさんの質問を彼らはしていた。しかし、復活の主イエスに出会い、またその後ペンテコステの日に聖霊が彼らに降ってからは、もはや彼らはイエスに尋ねることなく、確信を持って福音を宣べ伝え、また他のクリスチャンたちを教え導く者となった。これはまさに聖霊のお働きであった。  
→ヨハネ14:26,16:8,13

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが父に求めることは何でも、父は、わたしの名によってそれをあなたがたにお与えになります。あなたがたは今まで、何もわたしの名によって求めたことはありません。求めなさい。そうすれば受けるのです。それはあなたがたの喜びが満ち満ちたものとなるためです」(23b~24) ここでイエスが教えておられることは、すでに14:13~14,15:16でも教えられたことである。しかし、繰り返されているということはそれが重要なことだからである。イエスは死から復活して天に上り、父なる神のもとに行かれるので、その御子イエスの名、人間の罪の贖いをなしとげたお方の名によって父なる神に祈る時、そのイエスの名のゆえに神は祈りを聞き、求めたものは与えられるのである。私たち個人の名によるのではない。救い主イエス・キリストの贖いによって私たちは直接、父なる神のもとに願いを携えていくことのできる者とされた。イエスの名はそれほど絶大な価値あるものなのである。

私たちも遠慮することなく大胆にイエスの御名によって祈ろう。今、父なる神のみもとにおられる救い主イエスに感謝しつつ、信仰生活において豊かに実を結び、また喜びに満たされるように熱心に祈りに励むものとなろう。

ハブ4:14~16, I ヨハネ5:14~15